

# 平成31年度 まちの予算

平成31年度予算について、お知らせします。

一般会計の総額は、39億5,900万円で、平成30年度当初予算と比べると、1億200万円増加しています。また、一般会計と特別会計を合わせた総額は、52億8,550万円で、平成30年度当初予算と比較すると、9,310万円増加しています。増加の主な要因としては、一般会計における防災行政無線デジタル化経費の増額のほか、簡易水道事業特別会計における国道453号などの道路工事に伴う水道施設移設工事や電気機械計装設備の更新工事の増額などが挙げられます。

災害などに備えて積み立てている備荒資金組合の納付金や国保事業の基金を含めた平成31年度末の基金(町の貯金)残高見込額は15億3,130万円で、平成30年度末の見込額と比べると、2億3,944万円の減少となります。

特別会計を含めた町債(町の借金)残高は、平成31年度末の見込額が48億9,205万円で、平成30年度末の見込額と比べると、6,354万円の増加となります。

## 各会計の予算額

会計名	平成31年度	平成30年度	比較	増減率	
一般会計	39億5,900万円	38億5,700万円	1億200万円	2.6%	
特別会計	国民健康保険	4億6,600万円	5億1,390万円	△4,790万円	△9.3%
	後期高齢者医療	4,860万円	4,830万円	30万円	0.6%
	介護保険	3億4,500万円	3億4,890万円	△390万円	△1.1%
	簡易水道	2億9,250万円	2億2,360万円	6,890万円	30.8%
	集落排水	1億7,440万円	2億70万円	△2,630万円	△13.1%
合計	52億8,550万円	51億9,240万円	9,310万円	1.8%	

## 歳入

図-1は、一般会計の歳入内訳です。

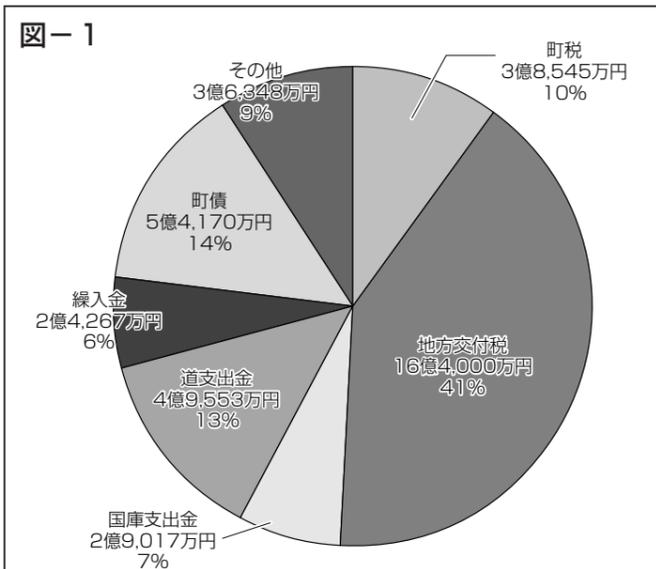
町税は、町内宿泊施設の耐震改修工事に伴う固定資産税の減額措置による減や宿泊客数の減少見込みを踏まえた入湯税の減などにより、前年度から700万円減の3億8,545万円としています。

地方交付税は、近年の実績や国の動向を踏まえ、前年度から1,000万円増の16億4,000万円としています。

国庫支出金は、社会資本整備総合交付金の減額により、前年度から6,491万円減の2億9,017万円、道支出金は、参議院議員通常選挙費委託金や、幌別硫黄鉱山坑廃水処理業務委託金の増により、前年度から1,073万円増の4億9,553万円としています。

繰入金は、町の基金(貯金)からの取り崩しで前年度から1,134万円減の2億4,267万円としています。主なものとしては、財源不足に対応するための財政調整基金を1億9,300万円、道南バス路線の維持や通学定期の補助に充てる国鉄胆振線代替輸送確保基金を966万円、中学生フィンランド国派遣事業など、国際交流事業に充てる国際交流基金を1,902万円取り崩す予定としています。

町債は、町の借金で、継続事業である町道滝之町中島1号線の道路改良や橋梁長寿命化整備に加え、防災行政無線デジタル化事業などにより、前年度から2億2,780万円増の5億4,170万円の借入れを予定しています。



## 歳出

図-2は、一般会計の歳出を性質別に分類したものです。

人件費は、選挙に係る委員報酬が見込まれるほか、管理職手当の見直しなどにより、前年度から793万円増の7億3,124万円としています。

物件費は、需用費(消耗品費や光熱水費など)や委託料のほか、賃金や旅費なども含まれ、前年度から993万円減の5億4,210万円としています。

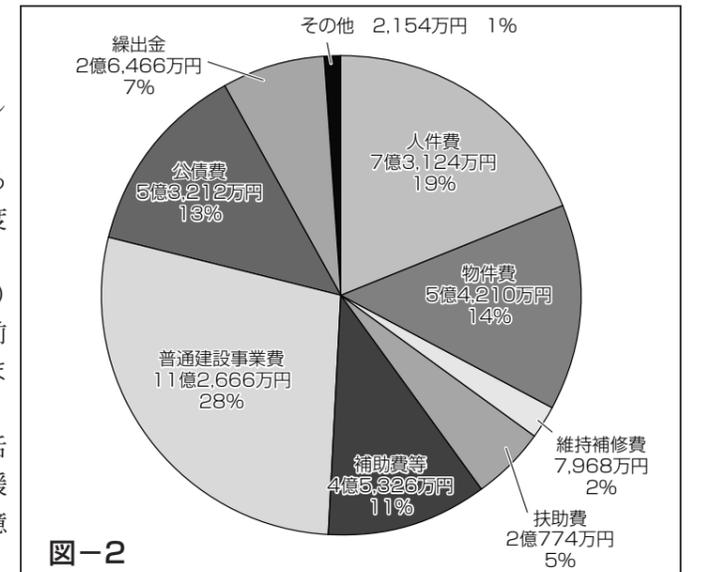
扶助費は、社会保障制度の一環として、生活困窮者、児童、老人、心身障がい者などを支援するための経費で、前年度から188万円増の2億774万円としています。

補助費等は、各種団体に対する補助金や助成金のほか、西胆振行政事務組合や西いぶり広域連合への負担金などがあり、前年度から2,183万円減の4億5,326万円としています。減少の主な要因としては西胆振行政事務組合消防負担金の減などが挙げられます。

普通建設事業費は、工事請負費のほか、工事に付随する測量や設計などに要する経費も含まれ、前年度から1億6,923万円増の11億2,666万円としています。平成28年度からの継続事業である町道滝之町中島1号線の道路改良工事の減額などがありますが、防災行政無線デジタル化に係る経費の増額が大きく、全体としては増加しております。

公債費は、金融機関などから借り入れた町債(町の借金)の返済に要する経費で、前年度から76万円減の5億3,212万円としています。返済額は平成25年度をピークに減少傾向にあり、平成31年度も利率の見直しにより利子が減少することなどにより減額となっております。

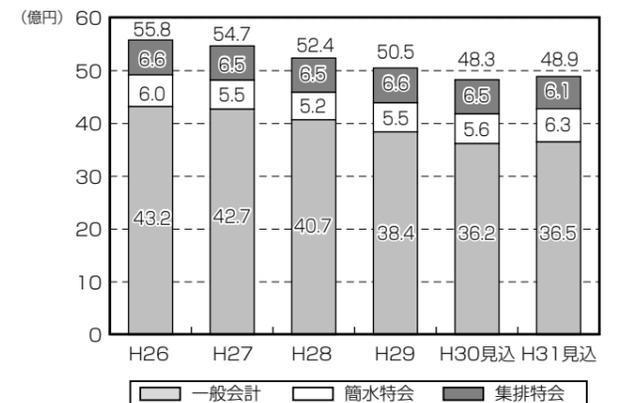
繰出金は、一般会計から特別会計に支出する経費で、前年度から894万円減の2億6,466万円としています。



## 町債残高の推移(まちの借金)

町債残高は、大型事業の抑制などにより減少傾向にありますが、平成31年度は一般会計と簡易水道事業特別会計において、防災行政無線デジタル化や水道施設移設費の増加などにより、町債残高は増加することが見込まれます。

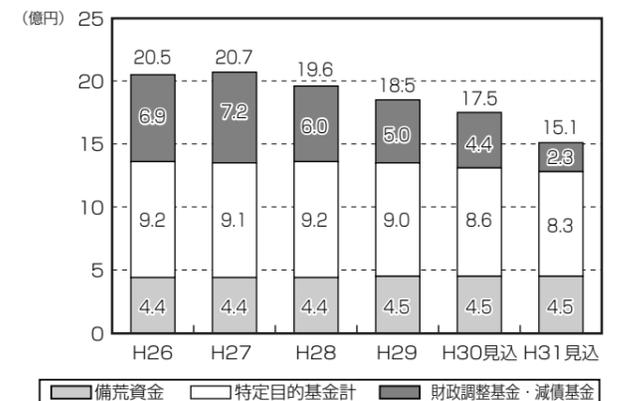
なお、町債の多くは、償還(返済)額の全部または一部が地方交付税として国から補てんされるものです。



## 基金残高の推移(まちの貯金)

平成31年度の基金の取り崩しは、次のとおりです。

- 財政調整基金 1億9,300万円
- 減債基金 1,000万円
- 特定目的基金 5,025万円
  - ・ 国鉄胆振線代替輸送確保基金 966万円
  - ・ 地域振興基金 100万円
  - ・ 農林漁業振興基金 1,000万円
  - ・ 国際交流基金 1,901万円
  - ・ ふるさと応援基金 1,058万円



【お問い合わせ先】 役場総務課企画財政係 (☎66-2121)